

2025年11月13日

各 位

会 社 名 gooddaysホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 小倉 博
(コード：4437、東証グロース)
問合せ先 執行役員グループ企画部長 井上 俊宏
(TEL. 03-5781-9070)

(訂正)

「2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

当社は、2024年11月14日に発表した表記開示資料について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正の内容と理由

「2025年3月期第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容に一部誤りがあることが判明したため、訂正を行うものです。

訂正箇所につきましては、下線を付して表示しております。

(訂正前)

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて170百万円減少し、908百万円となりました。

当中間連結会計期間における各区分のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動の結果、支出は25百万円(前中間連結会計期間は56百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益が333百万円、売上債権の増加が156百万円及び仕入債務の減少が103百万円あったことなどによるものであります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動の結果、支出は127百万円(前中間連結会計期間は337百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が76百万円、無形固定資産の取得による支出が23百万円、当社がUT創業者の会投資事業有限責任組合への追加出資を行ったこと等による支出が25百万円あったことなどによるものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動の結果、支出は17百万円(前中間連結会計期間は213百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払による支出が20百万円及び新株予約権の行使による株式の発行により収入が2百万円あったことなどによるものであります。

(訂正後)

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて170百万円減少し、908百万円と

なりました。

当中間連結会計期間における各区分のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における営業活動の結果、支出は34百万円(前中間連結会計期間は56百万円の支出)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益が333百万円、売上債権の増加が156百万円及び仕入債務の減少が121百万円あったことなどによるものであります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における投資活動の結果、支出は117百万円(前中間連結会計期間は337百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が67百万円、無形固定資産の取得による支出が23百万円、当社がUT創業者の会投資事業有限責任組合への追加出資を行ったこと等による支出が25百万円あったことなどによるものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間における財務活動の結果、支出は17百万円(前中間連結会計期間は213百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払による支出が20百万円及び新株予約権の行使による株式の発行により収入が2百万円あったことなどによるものであります。

以 上